

たいふう 台風ってなに?



たくさんの積乱雲が集まってできた
とても大きな雲のうずまきだよ。



台風のいっしょう

※これは、日本にやってくる台風のよくある例を示したものです。
その時の気象条件によって、台風の発生から消滅まではかなりの差があります。



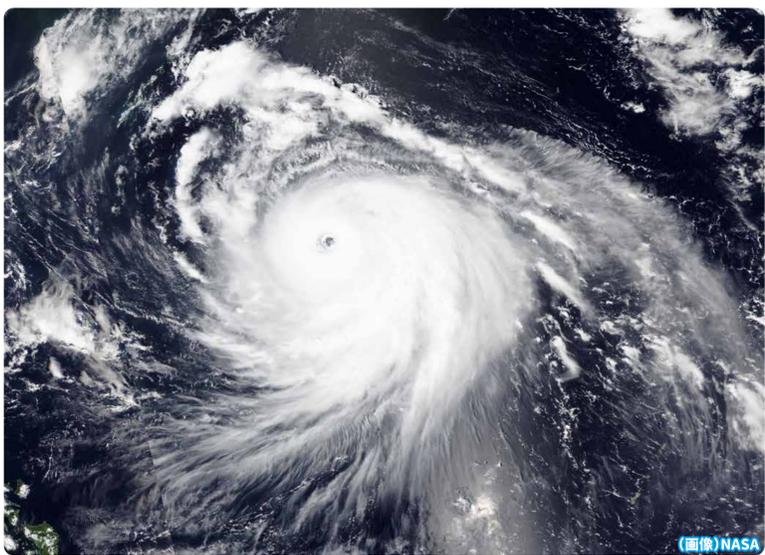
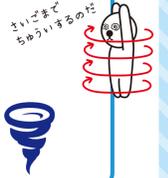
大きな雲のかたまりが熱帯低気圧になり、
やがて台風になる。
時計と反対周りに渦をまいて回り始める。



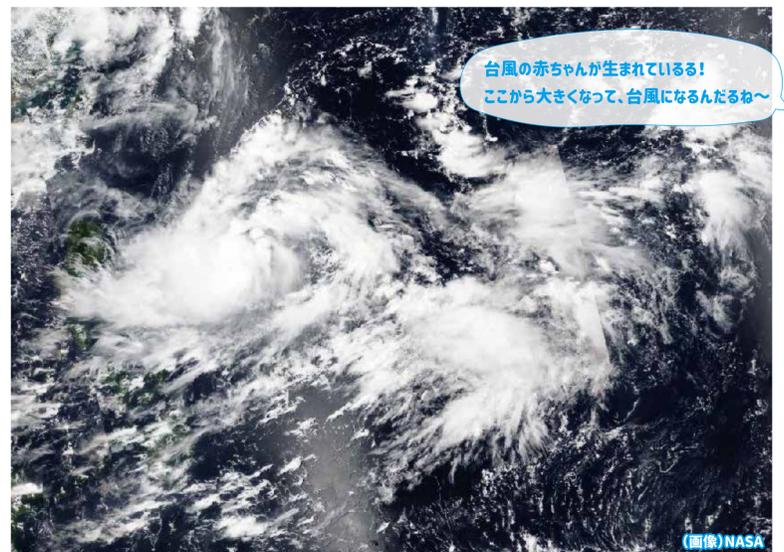
温帯低気圧に変わりつつある台風。日本付近の
偏西風(強い西風)で、台風の一部が東に流されている。

⚠️ 温帯低気圧になっても油断はできない!

温帯低気圧になってからの方が、低気圧が発達して被害を
もたらすことがあるよ。強い風が吹く範囲も台風のところより
広がって、大雨や竜巻などが起きることもあるんだ!



発達した台風。中心に穴(台風の目)が開いている。
台風の中心に近いところでは暴風が吹き荒れている。



台風の赤ちゃんが生まれている!
ここから大きくなって、台風になるんだね〜

赤道近くの「熱帯収束帯」で積乱雲が沢山発生して、
大きな雲のかたまり(クラウドクラスター)になる。



台風の予報円の見方



ある日の台風情報

台風が近づいているね〜。
…ええ!? 数日後にはこんなに
おおくなるんだるか〜!!

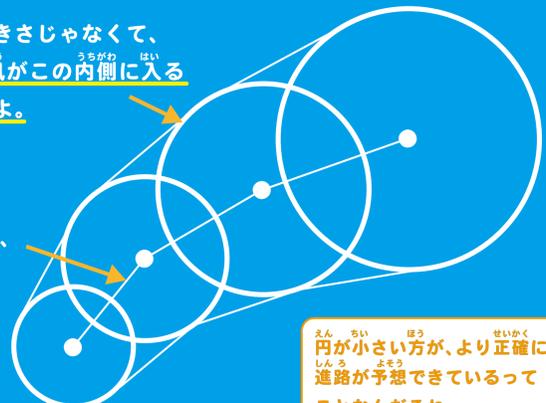


この丸は、台風の大きさじゃないんだよ!
予報円の正しい見方を知っておこうね。
詳しくは右の図を見てね。



この円は台風の大きさじゃなくて、
70%の確率で台風がこの内側に入る
範囲を示しているよ。

この線は円の中心を
つないでいるだけで、
進路ではないよ。



円が小さい方が、より正確に
進路が予想できているって
ことなんだね〜。

